

NO! リニア

No. 1 5 2

2022年10月6日

J R 東海労働組合

J R 東海労HP
にアクセス



大井川水問題パンフは問題だ! ⑤

釜場の容量より湧水量が上回ったら? ポンプアップ対策は可能か?

トンネル工事による静岡県外流失量と同量が大井川に戻す方策として、ポンプアップによるA案と田代ダムの取水制限によるB案の2つの案が示されています。

A案は、釜場と呼ばれるトンネル湧水を一時的に貯水するためのプールを数ヶ所作り、最下位の釜場から上位の釜場に徐々にポンプアップして導水路へと戻す方法です。まず問題なのは、この釜場の大きさがどのくらいの規模のものかは不明で、釜場の容量より湧水量の方が上回ってれば、県外流失は避けられません。大量の水が蓄積されている破砕帯は免れませんので、突発湧水が出た場合、釜場は何の役にも立たないでしょう。しかしパンフには、突発湧水対策のことは全く触れられていません。

また、釜場は平坦地に建設するのではなく、険しい山岳地帯に建設するのですから、大容量の釜場が建設可能かどうか疑問です。しかも、数ヶ所に建設するので、工事がスムーズに進むとは限りません。

更に、大量の水を汲み上げるため、大容量・ハイパワーのポンプが必要になります。ポンプの規模や台数は分かりませんし、相当な電力を消費することは間違いありません。

このA案の考えてみても、果たして有効的な対策と言えるのかどうかは大きな疑問であることは言うまでもありません。

